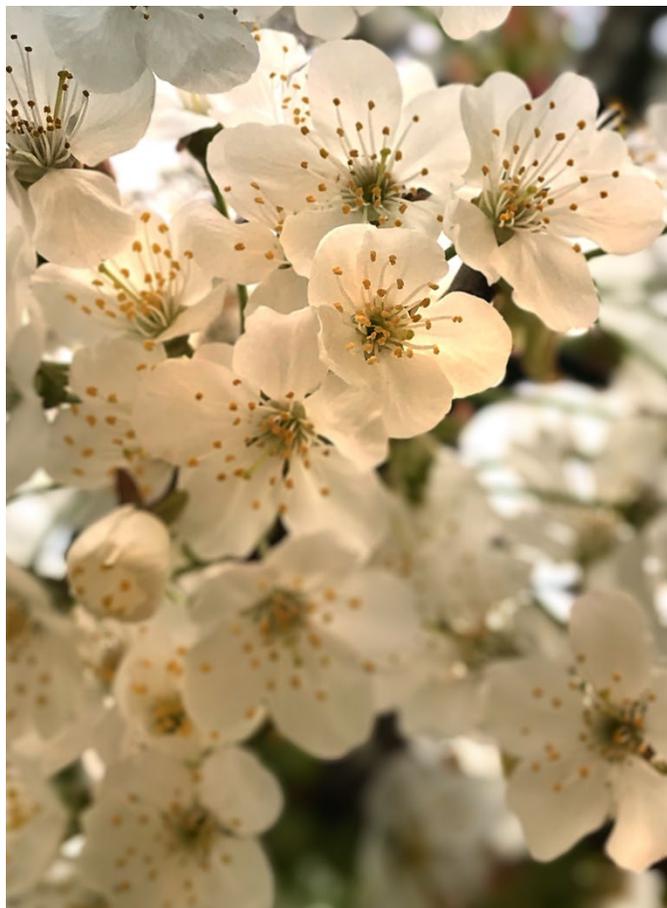


5月は...

胸腺腫瘍啓発月間です

Thymic Malignancy Awareness Month

MAY



胸腺上皮性腫瘍と診断された方へ
ぜひ、こちらの情報をお役立てください。

胸腺上皮性腫瘍とは...

...非常にまれな悪性新生物（希少がん）に分類されるがんです。胸部の上部、胸骨背部にある、「胸腺」という、小さな臓器に発生します。もともとは免疫系の機能の生育に関与している臓器です。

胸腺上皮性腫瘍には次の3つのタイプがあります。ただし、用語が混同されがちなので注意が必要です。

胸腺腫

胸腺腫は緩徐に増殖することが多い腫瘍で、顕微鏡で観察すると正常な胸腺と多少、類似性があります。経過は良好なことが多いですが、転移や再発を来すことがあるため、悪性の腫瘍と考えられています。胸腺腫と診断された患者さんは、免疫系の他の病気を併発していることがあります。特に多いのは、筋肉が弱くなる「重症筋無力症」という病気です。

胸腺癌

胸腺癌は顕微鏡で観察すると、正常な胸腺とは大きく異なります。胸腺癌は胸腺腫よりも急速に増殖し、がんが発見されたときには、すでに身体の他の部位に広がっていることも多くあります。

胸腺神経内分泌腫瘍

胸腺神経内分泌腫瘍は胸腺腫や胸腺癌よりも、さらにまれな悪性腫瘍です。

どのように診断される？

胸腺上皮性腫瘍の患者さんの約3分の1は、診断された時点では自覚症状はありません。患者さんが他の病気で検査を受けた際に偶然発見されることが多くあります。一方で症状がある場合、頻度が高いものは以下の通りです。

- 胸部の痛み
- 呼吸困難感
- 長期間続く咳
- 筋力の低下

このいずれかの症状がある場合、胸部CT（コンピュータ断層撮影）および/またはMRI（磁気共鳴画像撮影）を行います。放射線診断医は画像を精査し、腫瘍が周囲の臓器に浸潤していないかを調べます。PET（ポジトロン放出断層撮影）が行われることもあり、これによって他臓器への転移が判明することもあります。



May

Thymic Malignancy Awareness Month

胸腺上皮性腫瘍の治療は？

治療は腫瘍のタイプ(組織型)とステージ(病期)によって決まります。腫瘍のタイプは、腫瘍の全体またはその断片を顕微鏡で診断をする病理医によって判定されます。

治療には次の方法があります。

- 手術
- 放射線
- 薬物療法

胸腺腫、胸腺癌および胸腺神経内分泌腫瘍は希少がんです。このため、必ずしもすべての医師がこの病気に詳しいわけではありません。最善の治療を提供するためには、主治医は他の専門医に相談しなければならないこともあります。

この病気の治療にあたっては、胸部外科医や放射線治療医、腫瘍内科医などがチームを組み、胸腺上皮性腫瘍の診断の経験を積んだ放射線診断医および病理医と共に、全員が協力して取り組むことが必要になるかもしれません。国際胸腺腫瘍研究グループ(ITMIG)は、患者さんが胸腺上皮性腫瘍に詳しい医師を探すお手伝いをします。



根治の可能性・再発のリスクは、以下のいくつかの因子によって決まります。

- 腫瘍のタイプ
- 腫瘍が胸腺以外の組織や臓器にどの程度広がっているか
- 腫瘍を手術で完全に切除できるかどうか
- 患者さんの健康状態
- 腫瘍は初めて診断されたのか、それとも再発か



一人で悩まないでください！

他の患者さんと交流が必要ですか？

Facebook に支援グループのページがあります。

ぜひご参加ください(英語サイトとなります)：



**Thymoma
Support
Group**



**Thymic
Carcinoma
Group**



**ITMIG
Patient
Advocate
Group**



**FOUNDATION
FOR THYMIC
CANCER
RESEARCH**

さらに情報を知りたい方は
ITMIG のホームページを
ご覧ください。

ITMIG には YouTube ページ
もあります。胸腺上皮性腫瘍
の患者さんにとって関心のある
問題について、医師が患者さん
の質問に答えている
オンラインセミナー(録画)を
ご覧いただけます。

ITMIG は非営利組織です。



**International
Thymic
Malignancy
Interest Group**

<https://itmig.org/>



ITMIG のウェブサイトおよび
詳しい情報はこちらです

↓



5月 - 胸腺腫瘍啓発月間

この資料は、ITMIG メンバーの医師と患者さんおよび
胸腺癌研究財団により作成されました。

最終更新 - 2022/5/1

(日本語版) 大熊裕介¹ / 奥村明之進²

¹ 国立がんセンター中央病院

² 国立病院機構大阪刀根医療センター
ITMIG steering committee members